

第3学年 算数科学習指導案

日 時 平成27年10月23日(金) 6校時
児 童 3年3組 男15名 女17名 計32名
指導者 松木田 篤子

- 1 個人課題 自分の考えを表現することができる児童の育成
～既習事項を活用し表現する活動を通して～
- 2 単元名 小数「はしたの大きさの表し方を考えよう」(東京書籍 新しい算数 3年下 P. 11)
- 3 単元について
 - (1) 児童について
 - ・答えは見つけることができても、その理由を話せないことが多い。
 - ・計算方法を図などに表すことができるようになってきたが、わかりやすい表し方としてはまだ十分ではない。
 - ・レディネステストの結果の正答率は、既習の「1Lに満たないはしたの量をdLを用いて表す」は94%、「整数の構成や相対的な大きさをとらえる」は75%、未習の「1Lとはしたの量を小数で表現する」は20%である。整数の構成の問題で、10と1をいくつ分集めた数であるかについての誤答が多く見られるので、復習を十分にを行い定着を図りたい。
 - (2) 教材について
 - ・本単元の目標は、小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにすることである。
 - ・本単元は、第1小単元「はしたの大きさの表し方」(4時間)、第2小単元「小数のしくみ」(2時間)、第3小単元「小数のたし算とひき算」(3時間)、第4小単元「小数のいろいろな表し方」(2時間)、まとめ(2時間)の構成になっている。本時は、第3小単元の2時間目である。
 - ・本時に関わる指導事項は、「イ 1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること」である。
- 4 本時の指導(8/13時間)
 - (1) 目標
小数第一位どうしの減法の計算の仕方を理解し、計算ができる。(数学的な考え方)(技能)
 - (2) 個人課題や共通課題との関わり
 - 視点1(意欲の喚起)
 - ・前時の小数の加法の計算の仕方を振り返り、計算方法の見通しを立てることができるようにする。
 - ・式と答えだけではなく、0.1をもとにして計算の仕方を考え、言葉や図に表して考えさせる。
 - 視点2(学び合い)
 - ・言葉・式・図をもとに考えを発表する中で、小数の減法の計算も整数に直して計算できることに気づかせる。
 - ・計算の仕方をペアで説明させることにより、理解の定着を図る。

(3) 展開

| 段階 | 学習活動 | 指導の手立て |
|----------------------|---|--|
| <p>導入</p> <p>7分</p> | <p>1 問題を把握し、立式する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ジュースが0.8Lあります。そのうち、0.3L飲みました。ジュースは何Lのこっていますか。</p> </div> <p>・ $0.8 - 0.3$</p> <p>2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>$0.8 - 0.3$のような小数のひき算の仕方を考えよう。</p> </div> | <p>☆本時の問題は、前時の問題から引き続いていく場面であることに気づかせ、興味をもたせる。</p> <p>○のこりを聞いていることから、ひき算であることを確かめる。</p> <p>○前時の計算を振り返り、前時は小数のたし算だったが、本時はひき算であることに気づかせ、本時の課題を設定する。</p> |
| <p>展開</p> <p>23分</p> | <p>3 解決の見通しをもつ。</p> <p>・ 0.1をもとにして考える。</p> <p>4 自力解決をする。</p> <p>・ 言葉や式で表す。</p> <p>0.1をもとにすると</p> <p>0.8は0.1が8こ分</p> <p>0.3は0.1が3こ分</p> <p>$8 - 3 = 5$</p> <p>0.1が5こ分だから0.5</p> <p>$0.8 - 0.3 = 0.5$</p> <p>答え $0.5L$</p> <p>・ 図で表す。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;"> <p>0.8</p> <p>0.5</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>1 L</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40%;"></div> </div> </div> <div style="text-align: left; margin-left: 10px;"> <p>0.3</p> </div> </div> <p>0.8から0.3をひくと、0.5残る。</p> <p>答え $0.5L$</p> <p>5 考えを発表し、学び合う。</p> <p>・ 0.1をもとにして考えると、$8 - 5$の計算になっている。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★☆☆視点1 (問題解決への意欲)</p> <p>前時は、小数のたし算を0.1の何こ分として計算したことを想起させる。</p> <p>・ 前時では、0.1をもとにして考えたことを発表することができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★☆☆視点1 (自力解決への意欲)</p> <p>式と答えだけではなく、0.1をもとにして計算の仕方を考え、言葉や図に表して考えさせる。</p> <p>■ 0.1をもとにして計算の仕方を考え、自分の考えを表すことができる。</p> <p style="text-align: right;">(ノート)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★☆☆視点2 (学び合い)</p> <p>言葉や式、図の説明から共通事項を気づかせることにより、0.1をもとにすると整数のひき算と同じように計算できることに気づかせる。</p> <p>・ 整数のひき算と同じように計算できることに気づき発表することができる。</p> </div> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>6 類題に取り組む。</p> <p>① $1 - 0.4 = 0.6$ の計算の仕方を説明する。</p> <p>② $1.4 - 0.6$ の計算の仕方を説明する。</p> | <p>○全体で説明の仕方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★☆☆視点2 (表現する)</p> <p>ペアで説明し合うことによって理解を深めさせる。</p> <p>・ 0.1 をもとにして計算の仕方を説明することができる。</p> </div> |
| <p>終 末 15 分</p> | <p>7 本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小数のひき算も、0.1 の何こ分かをもとにして考えると、整数のひき算と同じようにできる。</p> </div> <p>8 適用問題に取り組む。</p> <p>9 本時の学習の振り返りを行う。</p> | <p>○計算の仕方を振り返り、本時のまとめをする。</p> <p>■小数第一位どうしの減法の計算ができる。 (プリント)</p> <p>○本時の学習でわかったことを書き、学習を振り返る。</p> |

★個人課題 ☆共通課題 ■評価 ○指導の手立て ・予想される児童の考え